

併設型施設のメリット

- 同事業所内で連携し、資源を効率的に活用することで経営安定化。
- 介護の設備・人員の合理的な配置が可能になる。
- 多様な利用者、多様な機能をもつ施設が実現すれば、それは、より多くの地域住民が関わる場となり、自然と地域の拠点になりやすい。逆に、地域の拠点として認知されることで、利用者がふえ施設等の運営がうまくいくことも多い。
- 地価が高い立地、あるいは土地が限られている立地では、複数の施設を立体的に複合することで、地価負担を下げることができる。

(参考文献)

- 小林秀樹. “「複合」の魅力とその可能性”. もうひとつの住まい方推進フォーラム東京大会 2010.11.28 基調講演要旨. 2010年11月16日. <https://kobayashi-lab.net/column/101116/column101116.html>. (2025年7月22日アクセス)
- 松原健治. “看護小規模多機能型居宅介護の経営に関する一考察—経営安定化のための要素分析—”. 兵庫県立大学“商大ビジネスレビュー2021 AUT”. 2021年9月30日. <https://www.u-hyogo.ac.jp/mba/pdf/SBR/11-2/139.pdf>. (2025年7月22日アクセス)